

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 まいるーむ放課後こども教室貝塚校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		なるべく物を置かずにスペースを保っている	維持していく
	2	職員の配置数は適切である	○		現場の働きやすさの声を聞くようにしている	日々の業務で聞くことができなくなっていることもある。ゆとりある時間を持てるようにする
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		行われている	維持していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の朝礼・終礼や支援会議で話し合う機会を多く持つようにしている	業務に追われると回数や内容の密度がなくなることがあるためウチリアルスケジュールを組めるように努力していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		立ち上げより初めての実施となったことで良い機会となった	具体的な意見はなかったが、今後意見を遠慮なく書いていただけるように関係を構築していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載と決まっている	今後も継続していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		実施している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		組織全体で定期的な研修が行われている	今後も継続していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者のニーズと利用児本人のニーズのすり合わせを行いながら計画書に反映させている	もう少し保護者の聞き取りを行える環境を整えていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		様式は大きく分類されたものになっている	アセスメントが不十分なことが多くあるので具体的な内容については口頭で質問していく必要がある
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士を中心にまとめている	今後も継続していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		継続するものしないものはミーティングで話し合っている	より新しいプログラムを検討していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動内容の充実を図っている	今後も継続していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		活動の中で利用児個々の状況に合わせて集団・個別の対応をしている	評価の中で個別が必要な利用児には保護者にも伝え計画の中にも組み込んでいく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝の申し送り情報共有をしている	今後も継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の中で情報共有が行われている	今後も継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケア記録にて記載し情報の共有をしている	記録内容をもう少し内容の濃いものにしていく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		評価を行い次の計画に生かしている	必要に応じて評価の回数を増やしていく	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		感覚統合など意識しながら支援を行っている	今後も継続していく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している	可能であれば直接児童と関わる現場スタッフ1名を参加させたい
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者を中心に必要であれば直接学校とのやり取りを行っている	今後も継続していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		先方が求める場合情報共有していく	先方が求めない場合もある
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要な場合連携を取っている	まだまだ密ではないのでこれから積極的に動けるよう努力する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		地域のふれあい広場などへの参加を検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		貝塚市では放課後デイの参加が要請されていない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の会話からの聞き取りを行いながら対応している	今後も些細な情報であっても共有していく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要に応じてお伝えしている	今後も必要に応じてお伝えしていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時十分に行っている	今後も継続していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者より意見を頂いた場合すぐに児発管やチーフに報告し早急な対応を心がけている	他機関との連携が必要な場合時間がかかることもあり課題としている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	イベントとして催しを検討中	1周年記念として内容検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情・相談対応がなされている	今後も継続していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Hugの活動報告を利用している	今後も継続していく
	35	個人情報に十分注意している	○		写真掲載の有無など確認を行っている	今後も継続していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じた対応をしている	今後も継続していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		何からはじめられるか?そこらになるが検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員への周知はできている	保護者への周知が必要
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施している	あらゆる場面を想定した訓練が必要
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		実施している	今後も継続していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		拘束が必要な場合は個別支援計画書への記載とともに同意書へのサインをしてもらう	今後も継続していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		スタッフ共有の元行われている	今後も継続していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所及びまいる一む全体で共有している	今後も継続していく